

第9回 武蔵野市保育料審議会 議事要録

1. **日程及び場所** 平成24年11月21日(水)午後7時00分～10時45分
武蔵野市役所 西棟8階 811会議室
2. **出席者** 委員7名、子ども家庭部長、保育課長、事務局4名
委員 菊池会長、松本副会長、加藤委員、井原委員、天野委員、
松田委員、早川委員
欠席者 伊藤(寿)委員、小美濃委員、平川委員、伊藤(優)委員、
市・事務局 青木子ども家庭部長、平之内保育課長、
川西、益守、山内、三上

3. 次第

開会

4. 議事

(1) 前回議事要録の確認

- ・承認

配布資料説明 (事務局より)

- ・市民意見が1件新たに寄せられたので配布する。

(2) 答申(案)について

- ・答申(案)の具体的な内容について審議を行った。使用する文言をできるだけ統一する、章立ての流れを工夫する、文章のみでなく表を入れるなどわかりやすい構成を心掛けた。

また、ぜひ書き込みたいことなどについても議論された。

- ・前回審議されたように修正した答申案と委員の修正提案してきた答申案とをくらべながら、1ページずつ検討していく手順ですすめられた。

- ・多くの人の目に触れるものだから校正に校正を重ねて誤解の無いようにしないといけない。

- ・「前回の審議会」は、間違いのないように「平成8年の審議会」に改める。
- ・【審議会の設置について】は、「はじめに」等で説明済みなので削除する。
- ・付帯事項は、大事な要素になっているので答申の最後ではなく主文の中に位置付ける。
- ・同じ内容を表現を変えて繰り返しているところは整理する。
- ・国徴収金基準額に対する保育料の割合しか記述していないところがあるが、審議会設置の根拠でもあるので保育園運営費決算額に占める割合も記述する。
- ・保育園運営費決算額に占める割合は、改定結果である。何%にするかを審議してきたわけではないので改善という表現は不適切である。
- ・留意という表現では不十分なので、一步進んで検討に改める。
- ・審議会は景気の状態がどうあろうと、定期的に開催されるべきである。また、値上げが前提では決していない。
- ・市からの説明部分は枠で囲って審議会の議論と分ける。
- ・第五期長期計画を含めつつ説明を受けている。
- ・次世代を担う子どもたちを育てているという意味ではどこで育っても同じである。
- ・子育て全体をみて、かなり踏み込んだ議論を行った、と考えている。
- ・子育て施策全体に予算をかけるよう求めることは理想ではなく当然である。
- ・改定という結論は審議会としても断腸の思いである。
- ・国徴収金基準額に対する保育料の割合や、保育園運営費決算額に占める割合は改定の目標値ではなく審議会設置の根拠であり、また、近隣自治体の数字は横並びするものではなく参考値である。
- ・武蔵野市は手厚い人的配置を行っている。職員配置が増えると、運営費総額は増える。
- ・章の見出しは、より具体的に内容がわかるようにする。
- ・激変緩和措置の考えを盛り込みたい。
- ・「16年にわたり改定を行わなかったこと」は直接の改定する理由ではない。
- ・「拡充の意見」は「拡充を求める意見」に改めるなど、より正確な表現にする。
- ・市民の意見が委員に伝わっていることを盛り込みたい。
- ・「第3子減免制度」の言葉の説明を入れた。
- ・第三次子どもプラン武蔵野や、第五期長期計画に書いてあることは、保育料の改定を待たずとも市は着実にすすめるべきである。

今後について

- ・最後の校正を事務局が行い、メール等を使用して委員とやりとりし、最終確認及び確定とする。最終的には会長に一任する。
- ・会長が代表して火曜日朝（11月27日）に市長に答申する。

以 上（22:45 終了）